

村上浪六 （おむらむらむろ） 小説家。慶應元年十一月一日和泉國生れ、昭和十九年一月一日歿（八五—九五）。本名信、幼名藤太郎。筆名ちぬの浦はみ六、ちぬの浦浪六、なみろく、なみ六、無名氏、眠獅菴主人、渡面居士等。明治二十二年報知社入社。編輯長森田思軒の後遺による所謂 （いはゆる） 櫻鬢小説「三日月」を發表して一世を風靡、爾來二十年代の互う有數の流行作家となる。

著書 （再考）「三日月」(うやむや隠し組評、明治二十四年七月七日、再版)

増補「三日月」九月二十一日春陽

堂)、（再版）「井筒女之助」(明治二十四

年十二月二十一日春陽堂)、（再版）「奴の

小方」(明治二十五年八月七日春陽

堂)、（再版）「鬼奴」(無名氏作、ちぬの浦浪六添削

名、明治二十五年十月十五日春陽

堂)、（再版）「破大鼓」(明治二十六年二

月六日春陽堂)、（再版）「夜嵐」(無名氏作、ちぬの

浦浪六添削名、明治二十六年七月一

十四日春陽堂)、（再版）「浪士の漫筆」(明

治二十六年十一月十八日春陽堂)、（再版）「學園花壇」(合著、明治二十七

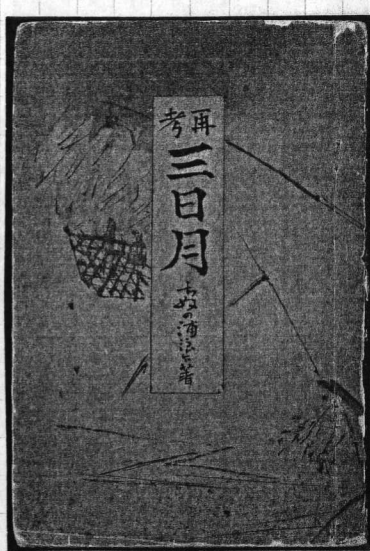
年一月一日春陽堂)、（再版）「深見笠」(明治二十七年一月十七日春陽堂)、

「髻の自休」(後の髻種、自休、明治二十七年五月十日春陽堂)、（再版）「安田

作兵衛」(明治二十七年十一月十一日春陽堂)、（再版）「かぞや行燈一浪六

叢書・第一番」(明治二十七年十二月二十日春陽堂)、（再版）「後の三日月」

(明治二十八年七月一日春陽堂)、（再版）「古賀市」(明治二十八年七月一日



十七日青木嵩山堂)、 『花車一浪六文庫・第一卷』 (明治二十九年) 一

月二十一日青木嵩山堂)、 『大坂城』 (内題「大坂城」明治二十九年

九月十日青木嵩山堂)、 『まなごだのー浪六文庫・第二』 (明治二

十年一月一日青木嵩山堂)、 『武者氣質』 (明治二十年十一月七日青

木嵩山堂)、 『浮世草紙』 (明治二十一年一月二十八日青木嵩山堂)、

『狂歌集』 (撰、明治二十一年四月十五日青木嵩山堂)、 『はるさめ』

(露伴 加賀の妙合著、明治二十二年五月十四日青木嵩山堂)、 『赤蜻蛉』

(明治二十二年九月四日青木嵩山堂)、 『よまとこ』 (明治二十四年

二月八日青木嵩山堂)、 『春白句』 (明治二十四年九月五日大阪・

駿々堂)、 『三致女子の文』 (明治二十五年二月二十一日大阪・石塚

書店)、 『留世五人倉橋幸藏(前篇)』 (明治二十五年四月一日青木

嵩山堂)、 『武士道』 全二册(前篇、後篇、明治二十六年一月一日青

木嵩山堂)、 『留世五人川上三吉』 全二册(前篇、明治二十六年五月

四日、後篇、八月五日青木嵩山堂)、 『うやむや日記』 (明治二十七

年二月十日青木嵩山堂)、 『脚業平文治』 (田中霜柳共脚色、明治二

十八年八月十五日鹿鳴社)、 『睡下集』 (合著、伊原青文園、明治

二十九年九月十九日春陽堂)、 『馬鹿野郎』 (明治四十四年七月十九

日金華堂)、 『元寇魂録』 (明治四十五年二月十五日全誠堂書店)、

『現代 恩謝男女の戦心』 (大正二年七月十五日、續編、九月十八日全誠堂

書店)、 『黒雲』 (大正二年一月一日全誠堂書店)、 『生る人間』 解

剖一領より以上』 (大正二年一月一日大江書房)、 『罵倒録』 (大正

二年四月二日全誠堂書店「大正名著文庫」)、 『浪六全集・第壹編』

(大正二年八月十日青木恒二郎刊、全誠堂書店發賣)、 『川柳うき世

の裏表』(大正三年六月十二日文明社)、  
『白蓮と豊大閣』(大正三年十一月十六日明文館書店)、  
『我五十年』(大正三年十一月五日全誠堂書店)、  
『世間威徳録』(大正四年七月四日白刊、如山堂書店、東京堂書店發賣)、  
『放言録』(大正四年十一月八日全誠堂書店「大正名著文庫」)、  
『白蓮』(大正五年一月)、『大阪屋號書店』  
『金尾文淵堂』、  
『大正五年十一月』(大正五年十一月十日)、  
『全誠堂書店』、  
『浪の傑作集』(一卷・大正七年一月一日)、  
二卷・  
十五日、第二卷・二月十五日春陽堂)、  
『海賊』(大正九年四月十五日明文館)、  
『水車』(大正十一年九月十日明文館)、  
『親鸞』(縮冊・大正十二年一月五日明文館書店)、  
『落花狼藉』(大正十二年五月二十日)  
山泉 準一  
『酒井久三郎』、  
高湯社發賣、  
『いたびらもの』(大正十二年十月十五日大江書房、二星社出版部發賣)、  
『無名の英雄と失敗の英雄』(大正十四年七月十五日時代相刊行會)、  
『人生の裏面』(大正十四年十一月十五日忠誠堂)、  
『裸體の人間』(大正十四年十二月十五日時代相刊行會)、  
『上田力』(大正十五年六月十日浪の叢書刊行會)、  
『黒田健次』(大正十五年八月十日浪の叢書刊行會)、  
『吉田雄藏』(大正十五年八月十五日浪の叢書刊行會)、  
『倉橋幸藏』(大正十五年八月十五日浪の叢書刊行會)、  
『天眼通』全二冊(前篇・大正十五年八月二十日、後篇・七月八日浪の叢書刊行會)、  
『川徳』(大正十五年八月八日浪の叢書刊行會)、  
『男女の戦心』(大正十五年九月八日浪の叢書刊行會)、  
『らとと表』全二冊(前篇、後篇・大正十五年九月十五日浪の叢書刊行會)、  
『仍如伴一浪』全集・第十二卷』

(大正十五年九月) 二十日全誠堂書店)、  
 『おはりのもの』(縮冊・昭和二年十月) 二日朗文館書店)、  
 『鈴木新内』(昭和八年一月十五日朗文館書店)、  
 『奴の小萬』(昭和八年八月五日春陽堂「日本小説文庫」)、  
 『おら時雨』(昭和十四年二月一日成光館書店)、  
 『當世五人男』(昭和十四年四月) 二十日春陽堂書店「春陽堂文庫」)、  
 『一足飛』(昭和十五年九月一日興文閣)、  
 『海上の歴史』(昭和十八年四月) 二十日興文堂書店) 等。

文獻、よしかさ著『浪六先生奇人變人録』(大正九年二月十日下谷書房)、  
 菊池曉汀評解『浪六先生人情集』(大正十二年五月十五日潮見書店)、  
 改題再刊『浪六傑作集・人情編』十五年二月十五日内外出版協會) 等。